

# ほけんだより

2020年8月1日発行  
新川崎みらいのそら保育園



今年は新型コロナウイルスや長梅雨の影響があり、なかなか外でおもいきり遊ぶことができないままあつという間に夏がやってきました。夏は暑さのため食欲がなくなったり、体力を消耗したりと体の調子を崩しやすい時期です。毎日体調の変化には十分注意しながら過ごしていきましょう。

## 熱中症とマスク

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染予防対策としてマスク着用を行っていると思います。マスクを着用し、感染症から身を守ることも大事ですが、夏へ向け徐々に気温が上がってきたこの頃、マスク着用による熱中症のリスクも高まるとされています。

- 気温や湿度が高い中でのマスク着用は要注意です。屋外で人と十分な距離を確保できる場合には、マスクをはずしましょう。
- マスクを着用していると、口の中の湿度が保たれ喉の渇きを感じにくくなるので、喉が渇いていなくてもこまめに水分補給を行いましょう。



## ～予防接種と乳幼児健診について～

### 【乳幼児健診】

川崎市では延期されていた1歳6か月児健診と3歳児健診が再開されました。今後はしばらく実施月齢から1～3か月程度遅れての実施となります。実施日程については対象者に個別にて通知されますのでご確認ください。

### 【予防接種】

予防接種のタイミングは感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。受けそびれてしまった場合もできるだけ早く接種していきましょう。

**\*乳幼児健診や予防接種を実施した場合は登園時に担任にお知らせください。**



## とびひの増える季節です

とびひは、夏の疲れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水ぼうがができます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。



### 主な症状

- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

## 家庭での手当て

- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う
- お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔を保つ
- 湯上がりはこすらずふき取り、薬を塗る



患部が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたら、ガーゼで覆いましょう



## 7月の報告

7月は以下の感染症がありました。

溶連菌感染症: 幼児クラス 1名

- 13日(月): 0-2歳児身体測定
- 14日(火): 3-5歳児身体測定
- 28日園医健康診断(6月末実施者対象)中止

## 8月の予定

- 17日(月): 0-2歳児身体測定
- 18日(火): 3-5歳児身体測定
- 25日(火): 園医健康診断

【対象: 0~3歳児クラス】

★気候の影響もあり風邪症状のある園児が多くみられました。今後も体調不良時は受診のご協力をお願いします。